

青少年育成委員会

委員長 桑 畑 真 也
副委員長 外 村 純 一
委 員 黒 木 興 輔 ・ 温 水 智 久 ・ 枇杷木 由香里
二 見 康 之 ・ 油 井 治 晃 ・ 和 田 幸太郎

【基本方針】

インターネットの普及によって、知識の習得や情報の共有が容易になり、子どもたちは、これらを新たなコミュニケーションの手段として活用するようになりました。反面、現実社会において、多様な人と接触する経験は不足し、信頼できる人間関係を構築する機会や、実体験に基づく知識を習得する機会が減少しています。我々は、将来を担う子どもたちが、混沌とした時代を生き抜くための、人間力を養う機会を創出する必要があります。

まずは、子どもたちに必要な創造力を養うために、普段とは違う環境のなかで、目にとまる物や思い浮かぶものに対して、問題点や疑問点を見つける機会を作ります。そして、ひとつの事柄をあらゆる方向から解決していく課題を与え、自由な発想で答えを出すことができる能力を体得してもらいます。さらに、自ら考え、答えが見つからなければ、子ども同士で協力しあい、ときには我々が、側面からサポートをすることで目標を達成し、答えを見つける楽しさ、仲間とともに協力して課題を乗り越えていく喜びや、達成感につながる機会を創出し、興味・関心を喚起させ、想像力を発揮することができる事業を構築します。また、子どもたちのコミュニケーション能力を養うために、学校教育の場では学ぶ機会の少ない、自然と触れ合う遊びの場を創出することで、子ども同士の距離は縮まり、会話は増え、より濃いコミュニケーションを図ることができます。そして、連帯感が生まれ、子どもたちは新たな友情を深めるきっかけとなります。さらに、我々LOMメンバーも一体となり、事業に参画することで、メンバー同士の絆が深まる事業を構築します。

多種多様な社会において、コミュニケーション能力を身につけた子どもたちが、あらゆる社会問題に対して臨機応変に対応できる青年となり、そして、将来この圏域のリーダーとして影響を与える人財となることが、この圏域の明るい豊かな社会の実現に繋がるのです。

【事業計画】

1. 青少年育成例会の実施（2例会）
2. 青少年育成事業の実施
3. 京都会議への参加企画
4. 九州地区大会「大村」への参加企画
5. 第45回宮崎ブロック大会実施への参画
6. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
7. 共催事業への協力支援
8. 会員拡大 [最重要]